

**職**場が新宿から神保町に移転して1年近くになります。

神保町に有名な紅茶専門店があると聞いて行ってみました。メニューを見ても色々種類があってさっぱりわからないので、とりあえず聞いたことのある紅茶を注文して飲んで、よくわからないなあという感じで店を出ました。

ネットで紅茶について調べてみたらとてもたくさん種類がありました。聞いたことのあるものから、まったく見当もつかない名前のもまで。ストレートティーに向くもの、ミルクティーに向くもの、色々あるようです。正直にいうと、ティーバッグの紅茶でまったく不満はないのですが、面白そうなので時々調べて紅茶を試してみようと思っています。職場が移転しなければ紅茶の種類に興味を持つこともなかったでしょう。

神保町は、あちこちの美術館にアクセスがいいことにも気がつきました。そこで何年も行っていなかった美術館に行って展示をみてきました。

この町にきてから新しい趣味が増えて、昔の趣味が復活しました。そのかわり、新宿に行くことが少なくなり、パソコンなども量販店の店頭でながめるよりネットでみて検討しています。

意識的に動かないと、行動は気がつかないうちに環境に影響されてしまいます。それが趣味の場合、たいした問題になりませんが、仕事では環境や習慣に流されてしまうことがミスにつながる場合があります。安全確認と危険予知はどんな仕事でも重要かもしれません。(M.K)

**ア**ニメや実写映画にもなった「デスノート」という漫画に、視認した相手の氏名と余命が相手の頭上に表示して見える能力を持つキャラクターが出てきます。それと同じように、電車に乗った際に、座席に座っている人たちの頭上にそれぞれの下車駅が見えたらありがたいのに……と思ったことはありませんか。

座っている乗客のスマホから乗車区間を読み込み(定期券機能のあるスマホ限定ですが)、自分のスマホのカメラに対してAR技術によって、画面に映る乗客の頭上に吹き出しのように下車駅名(あるいは乗車区間)が表示される。スマホをかざすのは現実的ではないので、ウェアラブル端末のメガネにこの機能があるといいなあとか妄想は膨らみます。でも実際には、個人情報保護やセキュリティ、リソース、I/Oの問題等でまず不可能でしょうが、そうした発想を別の利用方法に適用できないかと思いを巡らすのも好きです。

単なる思いつきですが、回線工事の現場で、誤接続防止のために対象と非対象の回線を光や色で補助的に見分けられる機能だとか、やるべき安全行動が漏れていないかを補助的に教えてくれる機能などを備えたウェアラブルメガネがあると、手もふさがれないので非常に便利だと思います。所定の方法で安全帯を固定しないとエラー信号を出すセンサとの組合せも良いでしょう。

文系のデバイス好きなので技術的知識は拙いですが、ない知恵絞ってパズルのように課題解決するのが楽しい編集マンです。(Y.H)

### こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

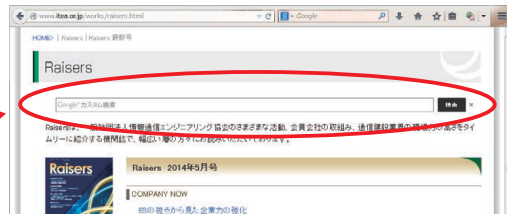
### 「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第66巻第2号(通巻第729号) 平成30年3月5日印刷 平成30年3月10日発行

定価 648円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

